

羽ばたこう 立志の丘から

平成27年9月7日
No.20

【うれしい話題 お葉書に感謝！】

「8月29日 防災参加者より」ということで刈和野在住の方からお葉書をいただきました。その内容は次のとおりです。

昨日8月29日、市の防災訓練に参加して、感銘を受けたことです。

貴校の生徒さんの一所懸命の対応に本当に感謝申し上げます。

礼儀正しさは、日常、朝逢えば「おはようございます」、日中であれば「今日は」と言ってくれます。校長先生はじめ諸先生の指導の表れと思い私たち地域の人として、本当に元気づけられます。

私も72歳ですが、このような孫がいればいつも思います。

この少子化の時代の数少ない子供たちをどうか、明るく、ご指導していただくことをお願いいたします。

どうか、8月29日の生徒さんたちのすばらしい対応に対してお礼を言ってください。本当に学校での育ちのよい子供たちです。厚くお礼申し上げます。生徒会長さんにもよろしくお伝えください。

こんなうれしいお葉書はありません。

生徒の地域でのあいさつ、今回の避難所開設訓練での対応に限らず、地域における生徒像は、これまでの本校の歩みであり、これからの道標でもあります。



もちろん、これらの生徒の姿は学校だけで育てることはできません、これまで同様に、家庭や地域の方々のご支援ご協力を得ながら、地域と共に歩む生徒、地域に貢献できる生徒となってくれるよう、皆様と連携させていただきたいと思っております。

匿名のお葉書でしたので、本校のホームページやブログ、この学校通信で、御礼の返事とさせていただきます。

地域の期待に沿えるよう、生徒・職員共々、これからも努めてまいりますので、苦言も含め、今後ともご指導くださるようお願い申し上げます。ありがとうございました。

断続的な雨の中 結輝学年

田沢湖一周全員完歩！

8月31日、断続的な雨の中でしたが、本校3

年「結輝学年」の「田沢湖一周ラリー」が行われました。



テーマが「走覇！！ 田沢湖一周ラリー！！」～仲間と困難に立ち向かい 友情と信頼を深めよう！～ということで、徒歩で田沢湖一周に挑戦するという困難に立ち向かい、克服したときの達成感を得ること、集団行動を通して、協力し、結輝学年の絆を深め、よりよい思い出をつくることをねらいとする活動です。

夏休み中から3年生は実行委員会を立ち上げ、準備してきた活動であり、約20.8kmという距離を仲間とともに歩き抜くという困難を克服しようとするな



か、雨という困難も重なりましたが、生徒たちは、それぞれの班で、助け合い、励まし合い、全員が無事田沢湖一周を果たしました。

途中、苦しくなったとき、先生方の車を呼ぼうかという、「私が途中でやめたら、結輝学年全体が目標を達成できなかったことになってしまう。卒業の時、みんな、田沢湖一周をしたんだよね。と語り合いたい。私個人の問題でない。」という思いで歩き抜いた生徒もいました。

ラリー終了後は、みんなの完歩を讃え喜び合い、田沢湖スポーツセンターに宿泊、夜はキャンプファイヤーで盛り上がりました。田村実行委員長の司会のもと、まさしく学年が一体となって楽



しました。火の神に従ってきた火の子たちが大活躍でした。



田沢湖スポーツセンターは、明るく清潔で、部屋もトイレもお風呂も快適な環境でした。バイキング方式の食事もたいへんおいしく、おかわりする生徒がたくさんいました。ありがとうございました。体調を崩す生徒もなく一日目を終えました。

2日目の9月1日は、小岩井農場に向かい、童心に帰って、友達との友情を深めました。一緒に困難を克服し、また、集団行動やキャンプファイヤー、アトラクションで深めた絆は、日本一の田沢湖よりも深くなったようです。

さあ、この後の全県駅伝や立志祭、そして、それぞれの希望に向かう受検に、互いに励まし合っていきましょう。相手を思いやる心、これからも発揮してください。信じています「結輝学年」、みんな仲間です。

1年「奏輪学年」職場訪問学習

9月1日、本校1年生の「奏輪学年」が、職場訪問学習をしました。

2年生は7月に職場体験学習を行っておりますが、1年生は、まず身近な、または興味・関心のある職場を訪問させていただき、将来について考えようという学習です。



実際の職場を訪問して、見学したり働く人々に接したりする体験を通して職業に関心をもち、将来の生き方や生きがいについて考えること、地域の人々の様々な生き方やふるさとの思いに触れ、地域の産業や企業への理解を深めること、あいさつや話し方など、社会生活に必要な対応について学び、マナーやルールを身に付けることなどをねらいに行っております。

夏休み前からオリエンテーションなどを行い、訪問したい職場等を考え、体験事業所等へのお願いや質問をまとめた上で、アポイントメントの取り方なども学習し、実際に訪問の受け入れをお願いする電話や依頼状の発送などを含めて体験学習として行いました。

今回は、西仙北地域や大曲地域、秋田市などの14事業所等をお願いをして、グループ別に訪問し、色々なお話をうかがってきました。この後は、体験のレポートをまとめ、立志祭でその成果を発表する予定であります。また、お礼状などの書き方も学び、お世話になった事業所等にお届けする

することにもしております。

1年生での職場訪問、2年生での職場体験、3年生での高校の体験入学や大学訪問など、一環したキャリア教育のカリキュラムとして実践しております。



わたしの主張2015県南大会 本校開催！

9月4日、「わたしの主張2015第37回少年の主張秋田県大会県南地区予選大会」が、本校体育館を会場に青少年育成大仙市民会議及び（公社）青少年育成秋田県民会議の主催で開催されました。

少子高齢化、国際化、情報化の急速な進展等、わが国社会や国際的な環境が大きく変化する現代社会にあって、次代を担う子供たちには、心身共に健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける、健やかな成長が求められています。そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や自分の主張を正しく理解してもらい力などを身に付けることが大切です。大会は、これらの力を身に付ける契機となることを願い実施されたものです。

湯沢雄勝地区から5名、横手地区から3名、大曲仙北地区から2名で、そのうちの1名が本校3年阿部君で、総勢10名の中学生が参加しました。阿部君は「失敗は未来への大いなる糧」と題して、アメリカでのホームステイ体験をもとに、積極的にホストファミリーと交流できなかった自分を振り返り、相手を察することのできる人間になりたいという今後の自分の在り方についての発表でした。



その他には、盆踊りに込められた地域の方々の思いを引き継ぎたい、自分の町の活性化を図りたいなど、具体的に夢を語ったり、自分たち若い世代が思いを行動に現していきたいなど、中学生らしい瑞々しい感覚で前向きなすばらしい発表ばかりでした。聴衆となった本校生徒にも刺激となるたいへん有意義な時間となりました。

なお、生徒・関係者を含め、聴衆は300名ほどで、これまで一般の聴衆の方がこんなにお出でになったことはなかったと主催者が話しておりました。西仙北地域の方々の青少年との関わり、青少年育成への関心の高さが示されたようにも思います。